

こが



市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



黄金色に輝く夕日の古賀市 古賀東中学校そばより

特集

- 議会報告会・年頭の挨拶 2～3
- 議会の動き・一部事務組合議会報告 . . . 4～5
- 第4回定例会の主な審議 6～7
- 常任委員会の活動・視察報告 . . . 8～11・19
- こが聞きたい!一般質問 12～18

第74号

平成28年(2016年)

2月8日

発行責任 福岡県古賀市議会

市民の声を

誠実に反映する

議会をめざし

議長 結城 弘明

市民との信頼関係の構築を大切に、誠実に責務を果たすことを目標に19人の議員は、心新たに新年のスタートをきりました。昨年末には平成28年度の国の予算案が決定され、地方創生の新型交付金1000億円が創設。地方交付税が細る中、厳しい知恵比べの自治体間競争の幕開けです。さらに来年は消費税増が予定されており、迅速で適切な対応が求められます。昨年はまち・ひと・しごと創生総合戦略特別委員会を立ち上げ、議員の総力で討議を重ね、予算や計画書に反映するようにと意見書をまとめ、市長に提出しました。11月には議会報告会も行いました。今後、スマートフォンなどでも議会中継が見られるように議会改革を行う所存です。今年も市民の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【ご意見】

空き屋や空き地はどれくらい把握されているのですか？

【議会】

古賀市の統計では、2万2680戸のうち1800戸ぐらいが空き家、そのうち問題になっているのは500戸程度。今年度正確な数が見つめると思います。

【ご意見】

インフルエンザの予防接種の自己負担額が高い！

【議会】

ワクチンの内容成分の増加にともない単価が上昇。近隣の自治体も追従する計画とのこと。周知徹底を市へ促したい。



【ご意見】

宮地岳線跡地の利用法は。

【議会】

古賀ゴルフ場の前が通学路になる見込み。それ以外の所は、市民農園や遊歩道にするなどいろんな案はあるが、最終確定はしていない。

【ご意見】

議会基本条例に期待したが、議員提案した事例は。

【議会】

議会としての災害対策マニュアルの策定、政策推進会議では公共交通を主体として取り組むことを今年度の重要課題とした。

さらに開かれた議会をめざして

市民の声に耳を傾ける

第2回 議会報告会開催 平成27年11月14日(土)

今回は改選の年でもあることから開催を1回とし、リーパスプラザ大会議室で開催しました。また、委員会ごとにグループ分けをして皆さんのご意見を聞きやすくしました。



「11月14日」

空き家はそのまましておく
と防犯上で心配。地域で高
齢者や子どもが集えるよう
な場所として活用できるよう
検討してほしい。

議会

空き家については調査を始
めた。集える場所として公民
館をヘルス・ステーションと
する取り組みがある。



「11月14日」

宗像市から越してきたが給
食アレルギーで古賀市は献立
表を見て自分で持っていくよ
うになっている。牛乳もセツ
ト。対応を考えて。

議会

古賀市の給食はセンター方
式をとっていることから対応
が難しい。

報告会幹事会 会長 岩井 秀一

議会基本条例のもと2回目の議会報告会を開催いたしました。悪天候にもかかわらずご参加いただき心より感謝申し上げます。

今回はワールドカフェ方式とし、3常任委員会ごとに車座を設け、市民の方々と議員が膝を交えて意見を交換しました。企画力や進行の不安もありましたが、この時にいただいたアンケートの結果によれば、議員の顔が見える距離の報告会について、高評価をいただきました。

その他のご意見として、もっと参加者を増やす努力が必要。聞きたいことや話したいことがたくさんあったが時間が短かった。質問への回答は、課題や数値をしっかりと把握してアピールしてほしいなど、大変参考になりました。

検討の余地や改善の必要はありますが、議員として議会の見える化の推進に努めるため、日々の研鑽を全員で申し合わせました。

古賀市の地方創生はどのような！

まち・ひと・しごと創生総合戦略 特別委員会報告

平成27年9月～12月 委員長 清原 哲史

平成27年9月3日に、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する特別委員会

が設置され、素案、原案、成案と11回にわたり委員会審議を行い、各会派および

委員からワークシートにより意見の提出を受け、議員間討議を行ってきました。

人口ビジョンについては、6万人規模を維持するとしていることへの疑問視や第四次総合振興計画の人口目標6万5千人との整合性などの意見が出されました。また、Iしごと創生、IIひとの流れの創生、IIIひとの支援の創生、IVまちづくり創生の各分野にわたり、重要業績

評価指標(KPI)の数値目標に対する指摘や政策課題を補強する意見などが出されました。

平成27年12月14日、市長に対し50項目にわたる意見書を提出しております。

今回のまち・ひと・しごと創生総合戦略に関しては、上乘せ交付金を受けるための提出期限が10月末となっていたため、時間的余裕がなく現状を十分分析し、客観的なデータなどに裏打ちされたものになつておらず、有識者会議はごく少数人数で、しかも一堂に会し議論もされていません。

もっと幅広い人員で構成し、多様な意見・知見を集めるべきであったし、この戦略の実現には、市民の協力が何よりも重要であることから、市民参画を工夫すべきです。アクションプランの策定にあたっては、議会からの意見も踏まえ、古賀市の特性を生



かした重点課題の設定と、絶えずPDCA(計画・実行・評価・改善)を回しながら、効果ある政策となるよう求めました。



森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 活動報告

今年もまつり古賀で大盛況！

会長 井之上 豊

平成27年10月20日13時より鹿児島市民文化ホールで林活議連九州大会が行われ、古賀市より7名の議員が参加しました。前林野庁長官による「林業の成長産業化」と題して講演があり、林業現場の状況や国産材製品の活用などについて学びました。

また、11月15日に開催された「まつり古賀」では、昨年に続き、林活議連手づくりの間伐材鍋敷き、コースターを配布しました。大好評のうち午前中に1,000個配ることができました。来年はもっと増やす予定です。



議長会
報告

地域防災計画について

議長 結城 弘明

糟屋地区議長協議会1市7町の議長による先進地視察に平成27年11月参加した。

訪問先は、人口約28万人を擁する新潟県長岡市で、平成16年に中越大地震で被害を受けた。この教訓を受け、18年長岡市防災体制の強化の指針が策定され計画の全面見直しが行われた。

本庁舎4階には24時間監視可能大型モニターが設置され、どんな異変も見逃さないと海、

川、山の安全確保に努めている。72時間停電対応の発電設備が完備され、全館100%の電気が供給可能。消防本部

に隣接した市民防災公園にはヘリポートと100トンの飲料水が常時循環し、1万1千人が3日間生活できる空間を有し、究極の防災対応の現場であり、古賀市も規模に応じた対策と覚悟の必要があり検証すべきと強く思う。



長岡市防災対策本部モニターと防災公園（長岡市庁舎内）

一部事務組合議会報告

古賀市は4つの一部組合に加入、それぞれ管理運営するため議会を有し古賀市議長がその組合議会の議長を務めています（消防組合議会は副議長）。まず、開催された審議概要は次の通りです。

■北筑昇華苑組合議会 8月10日開催。公平委員会委員3人の選任及び平成26年度決算認定が行われ賛成全員で選任認定しました。

■古賀高等学校組合議会 8月17日開催。教育委員長の任命、平成26年度決算審議などがあり賛成全員で認定しました。進学や就職率がよく生徒の評価は年々高くなっているとの報告。

■玄界環境組合議会 11月2日に開催。公平・監査委員選任や平成26年度会計決算などの審議が行われ、賛成全員で選任認定しました。

■粕屋北部消防組合議会 12月22日開催。平成26年度一般会計及び消防組合休日診療事業特別会計などの審議を行い賛成全員で認定しました。今年の火災は10件で前年比マイナス4件、半面救急車の出動が3,128件で前年比150件の増、無線のデジタル化は完成し、3月より運用。都市圏との共同運用は入札不調で遅れる見込み。

政策推進会議

公共交通を課題に

議会だより73号でお知らせしました、政策課題の募集・発表の場を設けました。5党派と一人の議員から11件の応募があり、発表、質問などを行い、役員会で協議。全体会で「市内公共交通」を今回の政策研究課題に選定しました。

湾岸議会議長協議会議員研修会
空き家を活用した
移住交流促進事業について

平成27年11月13日 ふくとぴあ3階視聴覚室 NPO法人地域交流センター津屋崎ランチ代表の山口覚氏を講師に、今増え続ける空き家について、それを活用した古

民家再生事業と移住者支援事業について講演いただいた。「空き家活用を目的とせず、空き家を手段として幸せな地域をつくることを目標にする」とまとめられた。



講演する津屋崎ランチ代表の山口氏

第4回定例会の主な審議

平成27年第4回定例会(12月3日～18日)の主な審議の要点を報告します。

古賀市へ企業誘致・移転を強力に応援

古賀市への企業などの立地を促進するため支援措置を行い、産業の振興と雇用機会の拡大を図り、地域経済の発展や市民生活の向上に貢献するための条例です。

市民建産委員会に付託、審査では、支援措置として、

- ① 固定資産税の課税免除
事業所の新築増設の家屋や土地・構築物へ課税する固定資産税を3年分免除。
- ② 雇用奨励金の交付
新規の正規雇用で、古賀市に在住の場合は1人・年12万円、本社機能を設置で1人・年24万円を交付。
- ③ 本社等立地交付金
本社機能を設置した事業者へ正規雇用従業員の転入費用や本社機能設置の経費、登記費用などを交付。

新しい企業の参入が進む古賀物流団地



本議会では、マスタープラン基本目標「活気とにぎわいあふれるまち」の具体化で雇用機会の拡大を期待。JR古賀駅周辺の大改造につながるなどの賛成討論がありました。賛成全員で可決しました。

生涯学習の拠点「交流館」

新しい生涯学習センターの名称と利用

平成28年8月に完成予定の生涯学習センターの名称が、「交流館」と決まりました。より多くの市民に活用してもらうため、管理や利用法についての条例を定めたものです。

文教厚生委員会に付託し、施設の名前や運営について、利用方法や利用料金、キャンセル、減免などについて審査しました。委員会では、賛成多数で可決しました。

本会議では、時間貸しの部

屋料金が1時間300円だったものが500円と高くなり、市民の税金で建設しており、安くしてほしい。利用者への負担増は、市民参画や市民活動の推進にはならないなどの反対討論があり、料金は妥当。生涯学習の役割は重要で、充実し親しまれることを期待。市民が料金を納得できるシステムを求めるなどの賛成討論がありました。

賛成多数で可決しました。

マイナンバー実施に向けて

行政の手続きで、社会保障・税・災害での独自利用事務を行うためマイナンバー(個人番号)を利用する条例を定めたものです。

総務委員会に付託、特定個人情報情報の漏洩については、職員の利用がわかるシステムで保護すること。

本会議では、個人情報の漏洩の危険性はぬぐいきれず、

市民への説明も不足していると反対討論があり、個人情報保護は厳格な取り扱いで、市民の暮らしの向上に役立ててほしいとの賛成討論がありました。賛成多数で可決しました。

花見東地区の

公園用地を取得

早期の完成が望まれる花見小学校横の土地を、公園用地として取得する見込みができたことから、約1億8200万円(約5500㎡)で契約するものです。

本会議では、賛成全員で可決しました。

古賀市議会会議規則の一部改正

女性議員がより一層活躍できる環境整備の一環として、出産に伴う欠席の規定を新たに設ける会議規則の一部改正を議会運営委員会から提案し、賛成全員で可決しました。

これまで本会議及び委員会の欠席理由は「事故」としか規定がありませんでしたが、この改正により、出産のため欠席する場合は、あらかじめ日数を定めて議長へ欠席届を提出することができるようになりました。

請願

27年請願2 生涯にわたるスポーツライフを実現させるための多目的グラウンドの新設に関する請願

市内のスポーツ競技人口に対してグラウンドが少なく、スポーツ環境が整っていない。青少年の健全育成やシニア世代のスポーツ活動で地域社会の活性化のため、ソフトボールの県大会ができる規模のグラウンドが必要なことから、多目的グラウンドの新設を求める請願です。

文教厚生員会に付託、審議の結果、委員会は賛成多数で採択。

本会議では、多目的グラウンドの必要性は賛同できるが、財源確保や体育協会などからの意見聴取の必要から、継続審査の動議が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

討論では、市内スポーツ施設にソフトボール場が23面あり、体育協会など関係者との調整で活用できる。グラウンド新設は、財源の検討や市民

の要望の把握などが必要で、改修で対応できる。老朽化が進む体育館の改善や子どもたちがのびのびと遊べる公園などが優先で、他団体との協議や検討が必要だとの反対討論。ソフトボール市郡・県大会ができるグラウンドが必要。他スポーツにも使える。市民の意見を聞き対処してほしいなどの賛成討論がありました。賛成多数で採択しました。

請願者

古賀市実年ソフトボール協会

会長 福原 俊一

紹介議員

森本 義征

岩井 秀一、井之上 豊

平木 尚子、高原 伸二



楽しいシニアのソフトボール

12月の主な審議

平成27年度 一般会計 補正予算

補正 3億8025万1千円増額

総額 205億6286万5千円

繰越金から、2億6993万円(71%)が財源

**ふるさと応援寄附基金
600万円**

6つのふるさと寄附メニューで基金を設立

**障がい者サービス給付
5219万9千円**

障がい者の医療負担の軽減

補正の主なもの

**生活保護受給者生活
支援 4165万円**

生活保護世帯の適正な生活費認定

**乳幼児・子ども医療費
2200万円**

小学校6年生まで通院医療費の補助

平成27年度 特別会計補正予算

■国民健康保険・・・補正2077万5千円増額 総額72億2003万5千円

■農業集落排水事業・・・薦野・米多比地区処理施設工事 責務負担行為補正

一般会計・特別会計補正予算は、賛成全員で可決しました。

総務委員会

11月2日

- 委員長 岩井 秀一
- 副委員長 田中 英輔
- 森本 義征
- 井之上 豊
- 村松 謙二
- 清原 哲史

来年度の予算編成は

枠配分方式から全件査定へ

財政課より、平成28年度は、第4次古賀市総合振興計画（MP）前期基本計画の最終年度であるため、目標達成に向けて予算編成を進める。平成18年度から行っていた予算の枠配分方式を中断し、全件査定方式へ変更することです。



予算編成作業へ

問 枠配分を中止した理由と再開はあるか。

答 経常収支比率が上昇し、次年度は前期基本計画の最終年度であり、予算編成が硬直化してきたため事業の見直しが難しくなってきた。再開は、財政課で査定した結果で

問 枠の再設定を考えた。土地利用や公共交通などへの取り組みは具体的に欠ける。

答 MPにもインターチェンジ周辺などの記述があり、公共交通のあるべき姿を打ち出していきたい。

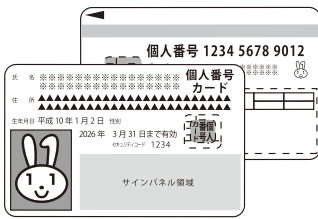
マイナンバーの

安全管理は

人事課より、社会保障・番号制度について報告があり、通知カードは11月末までに各家庭へ届け、市民への周知はチラシを各戸配布する予定。広報が12月号に個人番号カードの記事掲載し、民生・児童委員への協力依頼を行うとのことです。

問 個人情報の管理・取り扱いについて、職員への対応はどうするのか。

答 安全管理、事務取扱等について職員説明会を開催、安全管理規定の整備から事業所として実施する事務の対応準備を行っている。



個人番号カード

投票時間2時間短縮へ

平成28年の参院選から

総務課より、選挙の投票時間繰り上げの説明があり、平成28年7月の参院選挙から投票時間を7時から18時までとし、これまでの20時締め切りを18時へ2時間短縮すると報告がありました。

問 投票率が低下傾向の中であえて時間短縮する理由は何か。

答 当日投票者は減少している。期日前投票者数は全投票者の30%を占め、投票当日18時から20時までの投票率は5%未満である。

問 投票事務従事者や立会人など長時間の拘束で負担が大きいことから短縮。

問 期日前投票所の増設はどうなったのか。

答 期日前投票所は、1カ所の増設を検討中。

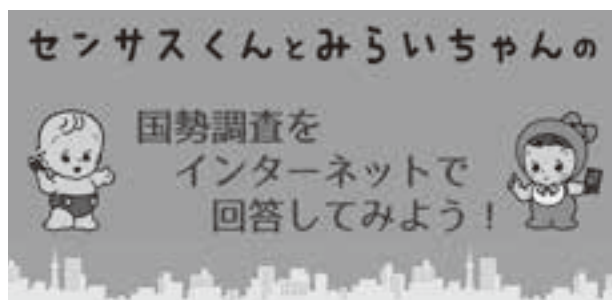


投票率の低下が心配です！

国勢調査

市のインターネット回答率は48%で県内2位

経営企画課より国勢調査での、インターネットでの回答が可能となり、福岡県全体での回答率は35.4%で、古賀市は県内2位の48%でした。



文教厚生委員会

10月27日
11月6日

委員長 吉住 長敏
副委員長 阿部 友子
委員 伊東 洋子 福崎 智之
平木 尚子 内場 恭子

船原古墳を国史跡指定へ

平成8年に発掘された船原古墳。保存している古墳の石室内にスプレーによる着色のいたずらがありましたが、その塗料除去作業を終え、1月、国史跡の指定を受けるための意見具申の準備をしているとのこと。指定の今後の方向性についての問いに、文化庁からも相応しいとの内諾もありました。

リーパスプラザ大ホールにて「世紀の発見！船原古墳」とのテーマでシンポジウムが開催されるとのこと。併せて福岡女学院看護大学の敷地内の流遺跡で、古墳時代の集落を確認したとの報告もありました。



船原古墳 1号土坑発掘現場

健康は自身の管理から

特定健診・がん検診は、ポスターなどの効果もあつてか、受診者数が伸びているとの報告。今年度からは歯科健診も20回実施。特定健診の結果により、対象者には糖尿病予防教室への案内もされているとのこと。家族コツコツ(骨骨)健康づくり事業も、現在5カ所に増えたヘルス・ステーションでも測定。2月に現状と課題の情報交換会をもつ予定で、さらに深

めていきます。また、インフルエンザの予防接種の自己負担額に關しての概要が説明されました。高齢者の負担額が2倍になることへの問いに、近年、小児も含め定期接種化の増加傾向があり、市の一般財源による安定運営と疾病予防の勸奨の兼ね合いからの判断で、11月4日時点では、接種率は下がってないとの回答がありました。

いじめには真摯に対応

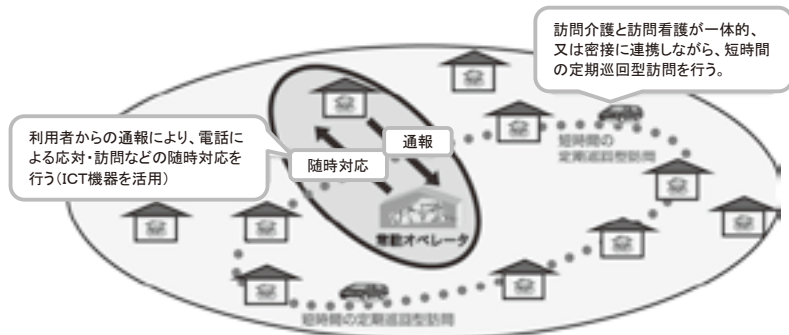
調査によると、携帯電話やスマートフォンをもっている市内の児童・生徒の割合は、小学生56・7%、中学生78・7%でした。それに伴い、携帯・スマホによるいじめの報告も。ある時市のメールに、中学生よりいじめによる命に關わる訴えがあり、そのメールに対して、学

校と連携をとりながら、真摯に対応し、命を救えたとの事例が紹介されました。古賀市では、いじめはないことはないとの危機的状況を前提に取り組んでいる。何かあつたらいつでも相談をとの報告がありました。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護で在宅も安心に

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

訪問介護と訪問看護が一体的、又は密接に連携しながら、短時間の定期巡回型訪問を行う。



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のイメージ図

学校図書館開放についての考えは

10月13日より、市内の小中学校で、学校図書館の開放が始まりました。各学校により、開館の曜日や時間帯、閉館日などは異なります。

問 学校図書館開放の周知の方法や、浸透状況は。答 本年後期は周知に力点を置き、学校通信・授業参観との組み合わせなどで、開かれた学校になげたい。

市民建産委員会

11月6日
11月9日

委員長 高原 伸一
副委員長 渡 孝一
顧問 健司 松島 岩太
古賀 誠視 姉川 さつき

待望のビジネスホテル誕生

「古賀市モーテル類似施設建築規制条例」に、基づく審査会報告では、九州を中心にホテル業を展開しているホテルAZ系列の進出が決まり、天神4丁目（中川区）に、現在建設中です。建物は6階建てでシングル、ダブルを合わせて133室を予定。

ビジネスホテルとして、平成28年4月より営業開始予定との報告がありました。

問 駅前宿泊施設がほしいとの声があったが、今回のホテルは、古賀市の

答 この地域は第1種住居地域であり、ホテルも建てることができる。建築可能であったが今まで建っていなかったのが現状である。実際には1事業者から、開発の申請があり進めた。

「古賀市モーテル類似施設建築規制条例」に、基づく審査会報告では、九州を中心にホテル業を展開しているホテルAZ系列の進出が決まり、天神4丁目（中川区）に、現在建設中です。建物は6階建てでシングル、ダブルを合わせて133室を予定。



建設が進む古賀市初のホテルAZ

マイナンバー制度への対応は

問 マイナンバー制度が始まることで、今までの住基カードは廃止になるのか。

答 申請窓口の掲示版を置いてある。臨時職員を2人採用し対応する。

問 12月11日をもって新規交付は終了する。

問 市民国保課はマイナンバーの受付窓口が対応は。



相談窓口を設置

水道料金3割値下げはどのくらいか

問 市長公約の水道料金3割値下げについて年度内に方向性を出すのと、ことだがどうなったか。

答 福岡地区水道企業団など関連する組織との交渉もあり進展は遅くなっている。

問 浄水場の運用の効率性も考慮し検討を進めている。

問 水道料金と浄水場の関連はどうなるのか。

答 浄水場は規模が大きくなっているが、需要は

減少。水道代を減額すれば収入は減る。これに対応できる経営計画が必要になる。

問 浄水場の規模適正化はどのくらいか。

答 揚水機場のポンプ出力を半分程度とした。

問 年度内に方向性を出してほしい。

答 ある程度の方向性を今年度中に出したいが必ずしも約束できない。

バイオマス発電可能性調査

古賀市も民間と共同で申請

環境課から、経済産業省の外郭団体の補助を9月に受け、民間と共同でバイオマス発電の可能性調査が始まったとの報告。工業団地で発生する廃棄物を生かし電気と熱に変換し、工業団地で利用するという想定です。今年度中に調査結果がまとまるとのことです。

問 参加する市のメンバーや予算、対象施設は。

答 市長、副市長、市民部長、環境課や下水道課、経営企画課の関係職員、

問 研究成果の公表は。

答 民間事業所も入っているの、公表の方向性になると思うが、今後協議したい。

環境課から、経済産業省の外郭団体の補助を9月に受け、民間と共同でバイオマス発電の可能性調査が始まったとの報告。工業団地で発生する廃棄物を生かし電気と熱に変換し、工業団地で利用するという想定です。今年度中に調査結果がまとまるとのことです。

問 参加する市のメンバーや予算、対象施設は。

答 市長、副市長、市民部長、環境課や下水道課、経営企画課の関係職員、

問 研究成果の公表は。

答 民間事業所も入っているの、公表の方向性になると思うが、今後協議したい。



対象の水再生センター

市政に活かせ！先進地の取り組み

3常任委員会ともに、平成27年10月7日～8日に視察研修を実施しました。

市民建産委員会視察報告

消化ガス発電

兵庫県神戸市垂水処理場

本市に導入する場合は、処理場の総合的な原単位と、事業スキームに係る初期投資や採算性を十分に検証する必要がありと考える。バイオ天然ガスの純度をどの程度高めるかによって、ガス精製設備の必要性は左右されると考えられるため、各発電機メーカーの実証データ等を収集し検討する必要があると思われる。

原単位の比較

	神戸市	古賀市
現有処理能力	223,500 m ³ /日	33,700 m ³ /日
消化汚泥投入量	800 m ³ /日	150 m ³ /日
消化ガス発生量	10,000 m ³ /日	2,300 m ³ /日
メタンガス濃度	60%	43%

空き家活用定住支援事業

京都府綾部市

3課からなる定住交流部があり、平成12年から取り組み開始。都市計画区域の線引きは、過疎化、高齢化が進む農村地域へのUターン・イターンの妨げになっているとして、都市計画区域区分の廃止要望活動を展開し、線引き廃止の手続きを進めると府が公表したなど、大いに参考になる内容だった。

文教厚生委員会視察報告

文化企画は市民主役がお家芸

茨城県小美玉市

古賀市生涯学習センターの運営管理の研修テーマで、酪農が盛んな小美玉市の類似施設を訪れた。企画立案運営面では自ら市民の「参加企画から主役へ」をお家芸と称する、コスモスプロジェクト組織の存在が目をついた。

小学校空き教室利用し多世代交流

埼玉県志木市

学校空き教室利用のふれあい館の現場を視察しました。4階建ての校舎1階を「放課後子ども教室」「保育ママ・ステーション」「学童保育クラブ」の子どもゾーン。反対

常任委員会視察報告

総務委員会視察報告

公共施設白書

愛媛県新居浜市

庁舎はもとより教育施設、公営住宅などの経年劣化が進み建替などが検討されてきた。同時期に建設された諸施設は更新が重なり財政が圧迫される。そこで予防保全により長寿命化することで更新時期の集中を回避し、費用の平準化策を打ち出すというもの。大変参考になった。

デマンドタクシー

愛媛県四国中央市

交通弱者を救済する新たなシステムを構築するため先進自治体の現状を視察研修した。特徴は、「登録制」「予約制」「乗り合い」「区域内運行」である。予約をすれば自宅付近から病院や商業施設まで送迎してもらえる、まさにタクシーである。古賀市においても実行可能な施策であろう。



四国中央市での視察



志木市小学校内の多世代ふれあい館「もくせい」

ここが聞きたい!

一般質問

企業誘致の現状及び計画をどうするのか

(答) 引き続き関係機関と協議を重ねていく



岩井 秀一 (志成会)

問 都市計画道路の現状と将来はどうするのか。

市長 東西方向の整備に取り組んでいるが、今後は古賀駅周辺開発に伴う整備実現が課題である。

問 市内3駅周辺の整備、開発について。特に千鳥駅周辺の開発は。

市長 古賀駅周辺については事業化に向けた検討を行っている。ししづ駅周辺については、駐輪場増設等、必要に応じ整備対応。千鳥駅周辺については地権者の方と用地交渉を含め現在、整備に向けて取り組んでいる。

問 経年劣化が進む公共施設の再配置や長寿命化など、どうするのか。

市長 各施設の台帳などを基に施設の維持管理や利用状況を確認した上で28年度までに「公共施設等総合管理計画」を策定し、方針を定める。

問 企業誘致について、具体的にどうするのか。

市長 今年度は必要な施策面の整備を進めたい。周辺自治体に先駆けて工場敷地内での緑地等の面積規制緩和の実現や雇用に対する支援措置を盛り込んだ「古賀市企業立地促進条例」を上程する。上位計画との整合性を図り、大規模未利用地である玄望園の開発実現に向けて、県との調整などの支

援を行いたい。

問 スマートインターン通への意欲は。

市長 地域の利便性及び企業誘致での用地確保において必要。玄望園の開発や他地区にも波及する。

問 市庁舎の移転についての考えを問う。

市長 分庁状態は問題であるとの認識。難題ではあるが、可能性を検討。

問 諸問題を部分的ではなく総合的に判断する市長の英断に期待する。



玄望園の開発実現が優先課題との認識か

徴税狙いのマイナンバーは中止に

(答) 拡大利用には必要な措置を講じる



内場 恭子

問 マイナンバー利用の市民のメリット、デメリットは。マイナンバーへの対応はどうか。個人情報を守られるのか。

市長 市民の社会保障や税の手続きが便利になる。個人情報漏洩・流失を危惧。国と連携して必要な措置をする。

問 市民や事業者への説明が不足では。

市長 広報や出前講座などで適切に周知している。

問 マイナンバー制度の狙いは徴税強化。マイナンバーを利用しなくても市民生活には支障はない。基本的な個人の情報を守るために中止すべきだ。

使いやすい公共交通を

問 公共交通への見解は。

市長 現状の西鉄バスが基幹路線。お出かけタクシーなどで一定の公共交通は確保している。

問 高齢化・少子化対策、人口増対策として、市の公共交通をどう評価するのか。市民要望の把握は。

市長 アンケートなどで把握。地域に出向き、意見交換の場などを確保し、市民ニーズに応える。

問 70歳以上へのグラントバス65購入の補助の評価と今後はどうか。

市長 高齢者の外出に一定の寄与。国の交付金は見込めず継続は困難。

問 西鉄バスの便が少ない。公共交通機関やバスがないなど困っている人たちへの対応はどうか。

もっと使いやすいバスにして



もっと使いやすいバスにして

新たな公共交通網の整備を

〔答〕 デマンドバスについては、調査・研究する。



清原 哲史
(連)

問 市民からは新たな公共交通を望む多くの声があるが、利便性を向上させ外出促進を図ることは、高齢者や障がい者の生きがいづくりや健康寿命延伸にもつながることから、一日も早くコミュニティバス、もしくはデマンドバスを導入すべき。

市長 古賀市に適した公共交通を構築したい。コミュニティバスは現時点では考えていないが、デマンドバスについては、有効性なども含め調査していく。

問 西鉄への運行補助は、3650万円と右肩上がりだが、補助は続けていくのか。

市長 西鉄が運行する基幹交通と、お出かけタクシー、デマンドタクシーで補完するのが最良の方策。

問 一便当たりの乗客数が、僅か7・22人、これで基幹交通といえるのか。まさに空気を運んでいるようなもの。

市長 空気を運んでいるといった形容は、ぴったりの状況だと思うが、今のバス路線で最大の利用者数と思う。

問 公共交通活性化委員会答申では、コミュニティバスは西鉄の補助と比較しても、多額の経費が必要としているが、その根拠は何か。

総務部長 委託か直営か補助か様々な比較検討し、西鉄への補助が金銭的、安全性で優位との判断。



総社市のデマンドタクシー

問 市民の強い要望に答え新たな公共交通網を整備する時期だと思うが。

市長 より良い公共交通を目指していきたいがコミュニティバスは、今の段階ではやらない。今の方式の方がベターである。

問 市長は、市民の声を受け止め、市民が望むことを実現させるよう強く要望する。

武道や政治についての授業の効果は

〔答〕 精神面や自分で考え判断できる力を期待



姉川 さつき
(志成会)

問 平成24年度から武道必修化となり、市内3中学校で武道の授業が行われているが、その効果は。

教育長 男女共に武道を履修することにより、技の習得を通して、伝統と文化を尊重する精神に触れることができている。

問 生涯スポーツにつながることを期待したいと思うが現状は。

教育長 中学校で武道に出会ったことをきっかけに、高校に進学した後、剣道や弓道を始めた学生がいると聞いている。

問 古賀中学校の弓道は、弓道協会よりゲストティーチャーとして授業が行われているが、高齢

化も懸念される。体育教師の育成や、経験があり退職をした教師や、大学生に指導を頼むなど継続をするためにも、何らかの検討をするべきでは。

教育長 今後協議をしていきたい。

問 来年の参議院選挙より、選挙権が18歳に引き下がった。公民の授業で、政治についての授業が進められているのか。

教育長 中学校では、市の選挙管理委員会の協力を得て、投票に関連する用具を借りて実際の選挙と同様の体験をさせたりしながら、選挙の意義について考える学習をしている。

問 人気職業ラン



双方真剣なまなざし

キングでは、政治家は100位にも入らない。政治に興味を持っていないとは思えない。投票の用具を見せることより、生の政治家と実際に会い、話を聞いたりする経験が効果があるのでは。職業体験の授業で市長が授業に出向いてはいいか。

市長 政治家の不人気ぶりについては残念に思っている。高校では話した経験があり、手ごたえを感じた。小中学生については今後相談をしながら検討したい。

地域に学習支援の場の拡大を

〔答〕 必要な課題であり、今後検討したい



田中 英輔
(山海会)

という状況は、決して低いとは言えない。

子どもたちを支援する

就学援助制度は、利用を

検討する人にはわかりに

くい。目安の金額を示す

など改善されている自治

体もある、もつとわかりや

すいものにすべきだ。

〔教育部長〕 制度の周知に

力を入れるなど、今後も

検討する。

〔問〕 就学援助制度は、

2005年に改正さ

れて部活動費なども

新たに加わり、予算措

置も行われている、対

応は。

〔教育部長〕 一般財源

化され、総合的教育

施策として対応して

いる。

〔問〕 「子どもの貧困

対策に関する大綱」

は地域に学習支援の

場の拡大を課題にし

〔問〕 7人から8人に1人

程度である。

〔保健福祉部長〕 福岡県の試

算方法によると13・44%

程度である。



子どもたちの今と未来を支える

ている。

これまで取り組みを活

かし、拡大しては。

〔教育長〕 必要な課題であ

る、今後検討したい。

〔まちの環境づくり

維持に市民参加を

市〕 市の計画では、市民

参加が示されている、その

具体化は。

〔市長〕 各種団体の理解を

得て進めたい。

バイオマス発電の取り組みの進展は

〔答〕 現在事業化への可能性を調査中



平木 尚子
(公明党)

〔問〕 18歳選挙権の導入に

際し若者に関心を持って

もらうための取り組みは。

〔選挙管理委員長〕 中学校の

生徒会選挙に実際の選挙

の備品を貸し出し、選挙

を体験。教育委員会や近

隣市町で作成した配布物

を活用し、関心を持つて

らう。

〔教育長〕 小中学校での選

挙啓発のポスター作成の

取り組みで、意義

や選挙年齢を意識

した指導も重要に

なる。

〔問〕 投票当日の終

了時間が2時間早

くなったことで、市

民への周知をどの

ようにしていくか。

〔選挙管理委員長〕 整

理券や広報こが、

新聞折り込みチラ

シ、行政区回覧な

どによって市民に

〔問〕 8年後の古賀清掃

工場の契約期限を控え、

環境の負荷の低減ができ

るバイオマス発電を研究

し、脱炭素をめざす、とあ



参考：日田市バイオマス資源化センター

浸透を図っていく。

〔問〕 時間短縮の根拠は。

〔総務課長〕 ①18〜20時の

投票者数が少ない②立会

人など従事者の負担軽減

③費用の削減効果があげ

られる。

〔問〕 投票率を上げていく

ための取り組みは。

〔選挙管理委員長〕 商業施設

に期日前の投票所を設定

するよう進めていく。

〔市長〕 これまで企業訪問

や先進地視察による情報

収集を実施。現在は国の

補助事業の採択を受け、

事業化への可能性調査に

〔市長〕 これまで企業訪問

や先進地視察による情報

収集を実施。現在は国の

補助事業の採択を受け、

事業化への可能性調査に

〔市長〕 これまで企業訪問

や先進地視察による情報

収集を実施。現在は国の

補助事業の採択を受け、

事業化への可能性調査に

〔市長〕 これまで企業訪問

や先進地視察による情報

収集を実施。現在は国の

補助事業の採択を受け、

事業化への可能性調査に

西鉄宮地岳線跡地活用の進捗は

〔答〕平成28年度は、整備計画案を説明する予定



福崎 智之
(自由クラブ)

の近くに働く場所もあり、3世代同居ということもできるのではないかと。そういうイメージのまちを目指したい。

〔問〕西鉄宮地岳線跡地の活用はどう進んでいるのか。

〔市長〕花鶴川以北については、市の整備計画案を作成中。今年度中に議会を初め、沿線地域へ説明、協議を行う予定。大事なことは市民参加。この跡地の活用ができれば、素晴らしいものになるのではないかと思う。

〔建設産業部長〕地域のアンケートでは、おむね7割が道路、もしくは歩道。歩道も緑道というイメージもあり、参考にしながら、整備計画案の詳細を詰め、地域へ説明をする。平成

〔問〕今の古賀市、これからの古賀市を市長はどうイメージしているか。

〔市長〕海、里、山といった豊かな自然環境、交通の利便性、企業も集積している、住環境や産業力などバランスがとれた市であると考えている。この強みを最大限生かし、さらに快適で安心なまちづくりを進めたい。当面の具体的な目標は、落ちついて心豊かに暮らせる生活都市。さらなる教育立市に向けて。農業と工業を合わせ、食品産業のまちというイメージを強めていくことができれば、素晴らしい。企業誘致、企業の立地が進めば、自宅



廃線前の西鉄宮地岳線の線路

28年度にかけては、その作業期間の予定。

〔問〕廃線後の風景は、景観や安全面が後退している。地元の声を聞き、将来の展望を描き、トッポの行動力と実行力、行政の知恵と力を発揮し、地元に必要な、古賀市に必要な宮地岳線跡地の活用に取り組みことを強く要望する。

古賀市の総合計画に市街化区域の拡大を

〔答〕企業誘致推進のため計画見直しに反映したい



渡 孝二
(自由クラブ)

〔市長〕議員の指摘を十分受け止め、計画見直しに反映したい。

〔問〕企業誘致の具現化に向け、古賀市の立地情報と企業誘致業種等を中心に、九州地区・福岡県内への設備投資を模索する企業情報を収集するため調査費を予算化すべきと考えるがどうか。

〔市長〕企業誘致を推進するために必要なことは検討し実施したい。

〔問〕現在、青柳・小竹地区の下水道は農業集落排水事業として位置付けられ未整備である。そこで、

①同地区に隣接して「汚水幹線」が既に敷設されていること。
②終末処理場の能力も、原単位などが引き下げられ十分な余裕があること。



古賀インターチェンジ周辺

④新たな施設の運転管理費が不要となること。
以上の経済性と利点から、処理形態を公共下水道事業に変更すべきと考えるがどうか。

〔市長〕指摘の通り処理形態の見直しについて、今後国県と協議していきたい。

誰もが住みたいまちづくり

▼(答) 今後も取り組んでいく



井之上 豊 (公明党)

点からも、胃潰瘍や胃癌にかかるリスクを大幅に減らすことができるピロリ菌の検査を、簡単にできるようにしては。

問 高齢者のインフルエンザ予防接種の件については、他の地域では、千円。古賀市は2千円。明快な説明もなく、市民の思いはモヤモヤしている。市としての理由はあると思うが、2千円にした理由を分かりやすく説明を求める。

市長▶ ピロリ菌の検査については、平成28年度に二十歳の方へピロリ菌の検査を実施する方向で検討している。

市長▶ 障がい者に對しては、本人が抱える相談や課題解決、適切なサービスが利用できるよう「古賀市障害者生活支援センター咲」や「就業生活支援センター」など連携し、障がい者の社

問 身体障がい者の方が生活を守るために、働く職場の環境を市としてどう考えているか。

市長▶ 障がい者に對しては、本人が抱える相談や課題解決、適切なサービスが利用できるよう「古賀市障害者生活支援センター咲」や「就業生活支援センター」など連携し、障がい者の社

市長▶ 障がい者に對しては、本人が抱える相談や課題解決、適切なサービスが利用できるよう「古賀市障害者生活支援センター咲」や「就業生活支援センター」など連携し、障がい者の社

問 インフルエンザ予防接種の件は、市民に分かりやすく説明をしてほしい。ピロリ菌の検査については、健康寿命を延ばす

市長▶ 障がい者に對しては、本人が抱える相談や課題解決、適切なサービスが利用できるよう「古賀市障害者生活支援センター咲」や「就業生活支援センター」など連携し、障がい者の社



古賀市の医療の行き先は

会参加に取り組んでいる。

保健福祉部長▶ 障がい者の就労支援については、現在古賀市で5カ年計画である障害者基本計画も策定しており、その中の重要な施策としても位置づけている。

問 ことあるごとに市民と対話し、今後も努めてもらいたい。

大根川の状況をどう考え、どうするつもりか

▼(答) 県にしゅんせつ、除草を要望している。



阿部 友子 (連)

辺公園がある。また、市役所裏の大根川に整備計画がある。

問 良好な景観維持のため、川土手の草刈りを定期的にしてほしい。

市長▶ 県が毎年定期的に3号線より河口側は除草している。上流部においては各農区に委託して除草に努めている。

問 県の除草時期が遅れることがある。

以前に市単費で除草作業をしていたことがあり、この事業の復活を。

市長▶ 県の責任個所なのできちり責任をはたしてもらいたい。

問 市役所裏の大根川の柳について、県にどう働きかけているか。

市長▶ 千鳥ヶ池公園、グリーンパーク、薬王寺水



子どもたちが遊ぶ水辺 (福津市上西郷川)

建設課長▶ 除草と合わせて伐木、伐採をお願いした。

問 県は予算がないようだし、古賀市で「柳切り隊」を結成して挑戦してみては。

市長▶ 職員有志で伐採をやるのかという意見が出ているが、危険性もある今の段階ではやりませうというところまではしていない。

危険と不安なスズメバチ駆除に市の支援を

〔答〕 今後の変化に応じて庁内協議



吉住 長敏 (連)

人命が第一。あくまで個人で対応すべきと言い切れるのか。

〔市民部長〕 個人管理の下でやっつてもらうのが原則。

〔問〕 夏以降の危険なスズメバチ営巣駆除に市の支援が必要では。窓口で四苦八苦していないか。

〔市長〕 駆除は専門業者に依頼することや、刺されない安全対策で市民に周知。市からの支援は今のところ予定していない。

〔環境課長〕 年間20件程度、営巣除去の方法について市民相談がある。

〔問〕 平成27年4月から駆除補助を導入した嘉麻市では費用対効果があったと聞く。1カ所に3万円、個人では困難。高い所に巣をつくる場合など高所作業車も必要。スズメバチに刺されて死ぬ人が年間30人にのぼるといふ。

〔市長〕 実態からいうと若干、グレーゾーンもあり判断が難しいことは



公共施設のスズメバチの巣 (平成26年8月)

認識。

従来から土地所有者や管理者の責任でやっつてもらっているが、今後の変化に応じて庁内で対応を協議していく。

〔問〕 ぜひとも前向きな努力をお願いしたい。

その他の質問

〔環境課長〕 被害の範囲とか、空き家の場合など市が対応する場合もある。

〔問〕 外来蜂も九州に侵入した。時代や状況の変化に対応し、相当危険なスズメバチ営巣の駆除で市民の不安を取り除くのは公の役割ではないか。

日本オープン開催へ向けた市の対応は

〔答〕 市としてできるだけ協力をしていく



古賀 誠視 (山海会)

古賀市活性化へアピールする機会とし、取り組むべきだ。

〔市長〕 古賀市での開催は名誉なこと、古賀市の地名と特産品、農産物などをアピールする機会として取り組んでいく。

〔問〕 古賀ゴルフ・クラブでは、2019年10月に日本オープンが開催予定。ゴルフ・クラブでは、JRししぶ駅を交通手段と想定している。ししぶ駅からゴルフ・クラブまでは、道も狭く歩道もない、大会開催中は車と人で大混雑が予想される。道路と歩道の整備は、どう考えるか。

〔市長〕 ししぶ駅西側の道路と歩道の整備は、浜大塚線、国道495号線の整備に関連して、地域の生活道路の要望は聞いている。今後、優先順位や財政状況をみて検討する。

〔問〕 日本オープンに向け、市も積極的に関与し、

〔問〕 全公民館や



2008年日本オープン開催 (古賀G・C)

〔問〕 自主防災組織への防災資機材購入補助が平成27年度で終了とのこと。せつかく立ち上がった防災組織を継続していくためには、補助金を減額してでも続けるべきだ。

〔問〕 市民の安心安全を守るためにも、防犯灯、防犯カメラの設置を進めるべきだ。

投票時間を短縮する理由は何か

(答) 18時〜20時の投票者数が少ない



村松 謙二 (希来里)

間に投票する人が少ない
 と言つて国民の権利を制
 限してよいのか。

総務課長 他の時間に比
 べ投票率が低いことは確
 かで、個別の理由は立会人
 をはじめ選挙事務従事者
 の負担軽減が図れること、
 経費の削減が期待できる
 ことが大きな理由。

問 古賀市選挙管理委員
 会(選管)が来る参議院選
 挙より18〜20時までの投
 票時間を繰り上げ短縮す
 るとした理由は。

選挙管理委員長 ①期日前
 投票が定着し、約30%弱
 ②18〜20時の投票者数が
 3〜5%と少ない③アン
 ケート結果で7割の人が
 時間短縮に賛成。十分に
 周知を図れば対応でき
 と判断した。

問 この2年間の選挙で
 18〜20時までの投票率が
 3〜5%というが、この根
 拠は何か。

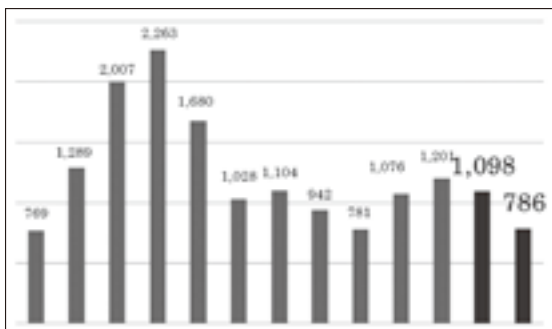
総務課長 平成24
 年の12月に行われ
 た衆議院選挙から
 先の市議選までに
 行われた投票率に
 よるもの。

問 先の市長選挙と市
 議選の投票率は50%を割
 り、投票率の低下傾向に
 歯止めがかかっていない。
 選管の仕事は公正な選挙
 実施と投票率の向上を図
 ることだ。

問 先の市議選
 のデータを調べ
 たら、投票当日の
 時間別実績では、
 この2時間で11.
 8%もある、どこ

短縮する理由にその時

8%もある、どこ



左から1時間ごとの実績、
 18時以降に11.8%、1,884人も

が3〜5%なのか。最後の
 2時間で1,884人の投
 票者がいる。

総務課長 少ないとい
 う理解をしている。

問 恣意的に基準を変え
 て2時間の投票率を少な
 く見せようとしている。同
 じ基準なら期日前は30%
 でなく、14・32%だ。事実
 を伝えないとだめだ。選
 管は改めて慎重に協議し
 てほしい。

9月議会で求めた保健師の補充はどのように

(答) 育児休業中対応は任期付常勤職員を任用



奴間 健司 (希来里)

14600人で3.3倍。
市長 一つのデータとし
 て真摯に受け止める。

問 松本市は健康を重視
 し、過去8年で健康寿命
 が女性で0・57歳、男性で
 1・01歳伸びた。

**松本市の先進例を参考に
 小学校区担当の保健師を
 10年続いた枠配分予
 算を中断する理由は。**

市長 私の12年間はほと
 んど緊縮財政。強引に枠
 を作り、経費削減の結果
 が出た。長年続け硬直化
 し、前例踏襲も出てきた。
 全件査定とし2、3年後
 に再設定する予定。

市長 古賀市ではデー
 タが取れていない。松本市
 を参考にしたいが古賀市
 は古賀市のスタイルで健
 康づくりを目指したい。

問 小学校区に地区担当
 保健師と地域づくり担当
 者配置のビジョンを。

問 戦略なき歳出削減で
 は政策立案向上は無理。
市長 行革前にビジョン
 を出せればよかった。今か
 らダイナミックな戦略を
 立て発展を目指す。

問 育児保健師対
 応は任期付では不十分。
 正規保健師募集
 の英断を。

市長 保健福祉部門

健康寿命延伸都市
 を掲げる松本市では保健
 師一人が約4400人の
 市民を見るが、古賀市は

健康づくり部署	古賀市	松本市
正規保健師	4人	42人
役付	0人	9人
育休中	3人	10人
嘱託・臨時	0人	13人
合計(実働)	4人	55人
保健師一人あたり人口	14,576人	4,394人

健康寿命延伸に保健師拡充は欠かせない

その他の質問
フレッシュヤーズノート

よここそ古賀市へ

古賀市議会への

視察の受け入れ

平成27年11月5日

・愛知県知多市

議会運営委員会

・大分県竹田市

議会運営委員会

11月10日

・京都府向日市

議会運営委員会

・群馬県渋川市

議会運営委員会

11月12日

・長崎県対馬市

議会運営委員会

11月13日

・兵庫県たつの市

議会改革調査特別委員会



議会報編集常任委員会

委員長 内場 恭子

副委員長 福崎 智之

阿部 友子 平木 尚子

古賀 誠視 村松 謙二

議会報編集常任委員会は、平成27年3月議会で常任委員会となりました。

市議会議員の改選により、新たなメンバーとなり、第72・73号、PR版、74号の編集を行いました。

市民のみなさんに親しまれる、読んでいただける「議会だより」となるように、紙面の配置や編集を工夫しています。見やすいデザインや写真の撮影など委員6人で協力し、議会閉会后、約1カ月かけて作り上げています。

委員それぞれの個性と能力を最大限に活かして、編集をしています。古賀市の魅力を発信したいと表紙の写真に苦心をしています。

さらに、議会での議員の活動や発言を、より正確に、市民のみなさんにわかりやすく伝えることを信条に努力しています。

委員間では、記事の編集

や表現方法などに激論をかわし、時間をかけ編集しています。市民のみなさんからは、「雰

囲気が変わったね。」「明るくなった。」とお褒めの言葉をいただきました。「本当に編集委員をしていてよかったです。」と感じます。議長をはじめ議員全員で、古賀市議会だよりを育ててまいります。ご協力をお願いいたします。



こが市議会だより

町村議会広報研修会 平成27年11月25日

議会報委員 福崎副委員長、平木委員、古賀委員が「読者につながる対話型の広報誌へ～議会広報のコミュニケーション技術～」を広報アナリストの吉村 潔（よしむらきよし）氏を講師に研修し、読まれる広報誌の違いを見出すために、議会らしさをどう打ち出すかを学習しました。

若い人にも読んでもらえる、固定概念にとらわれない、新しい発想の試みへの取り組みを勧められました。

常任委員会報告



町村議会広報研修会風景



研修を受ける古賀市議会議会報編集委員

市民活動紹介 ボランティア 訪問 ⑳

まちの草の根活動
紹介しま〜す！



パッカー車へ積み込みの様子

舞の里4、5丁目環境対策委員会

〜剪定枝回収でゴミ減量を〜

舞の里4、5丁目環境対策委員会（委員長・藤井慶太さん）は、平成15年の古賀清掃工場稼働を契機に発足し「燃やすごみを減らすため、自分たちでできることから始めよう」と剪定枝回収を始めました。

活動は年4回（春と秋）行われ、年間10ト以上の剪定枝がチップ化され、土壌改良剤として再利用されます。

回収場所は舞の里小学校で、そこにはパッカー車2台が待機し、住民は家庭で剪定した木や枝を車や自転車を持ち込みます。住民ボランティアは、車の誘導や積み込みの手伝いをします。

時間は午前9時〜10時までの1時間です。毎回100世



2トントラックに積まれた剪定枝

帯以上が協力しています。

現在では、古賀市の家庭系ごみ減量推進事業の1つとして資源循環、ごみ減量に貢献しています。

活動は14年目を迎えますが、委員長の藤井さんは「地道でささやかな取り組みですが、様々な課題を乗り越え継



加工された土壌改良剤

続できているのは、住民、事業者の協力、行政の理解があったからだと思えます。市民の皆さんに知って頂き、他の自治会や団体などに広がることを願っています」と語って下さいました。

連絡先：藤井 慶太

070-5690-8740

表紙の言葉

黄金色の太陽の恩恵を受けて、人の暮らしも農・工業も、元気に力強く輝く良き年になりますように願いを込めて。

編集後記

2期目の編集委員会です。3分の2が新しい委員の中で前期経験者一人という微妙な立場にいます。全員が全く新しい委員になれば、新人委員のやり方で進められるところでしょうが、経験者がいるばかりに、「以前はこうしたよ」「今まではこうだったよ」と口が出ます。「以前のやり方にとらわれなくていいと思います」と新人委員。4年前、私も同じようなことを言ったような気がします。4年経って風化してしまったようです。新旧ぶつかり合いながらの編集作業ですが、早晩、意欲に燃えた新しい委員による新しい紙面に変わっていく事でしょう。それも当然ですが、意地悪ばあさんよろしく口出しがんばります。（阿部）

議会報編集常任委員会

- 委員長 内場 恭子
- 副委員長 福崎 智之
- 委員 阿部 友子
- 委員 平木 尚子
- 委員 古賀 誠規
- 委員 村松 謙二

第4回定例会の傍聴者は46人でした。ありがとうございました。第1回定例会は2月29日（月曜日）開催予定です。インターネットによる中継、録画配信も行っています。ご利用ください。